

E 環境

汚染防止の取り組み

方針・考え方

当社グループは大気・水質・化学物質に関する法令・条例および社内基準を遵守し、環境負荷の低減に取り組んでいます。排出・排水は定期的に測定・監視し、異常の早期検知と是正・再発防止を徹底しています。

化学物質排出量削減

「化学物質排出管理促進法」（通称PRTR法）に基づき、各事業所で適正な届出と管理を行なっています。2023年には追加指定された対象物質についても、速やかに把握・対応を進めました。その結果、塩素酸ナトリウム塩の水域への排出が確認され、適切に届出を行いました。今後も、従来からの排出物質に加え、新たに追加指定された物質についても、排出量の把握と削減に努めていきます。

主なPRTR調査対象物質の排出量(トン)

主な排出物質	2024年	2025年
塩素酸ナトリウム塩	46	68
クロロメタン(塩化メチル)	31	20
アクリル酸メチル	4.7	5.1
クロロエチレン(塩化ビニル)	3.1	5.0
トルエン	1.2	1.7

大気汚染対策 ※ [NOx/SOx等] 推移

燃焼設備を適切に管理することで、ばい煙に関する規制値を遵守するとともに、硫黄酸化物(SOx)、窒素酸化物(NOx)の総排出量をモニタリングしています。

排気ガス モニタリング項目の推移(トン)

		2022年	2023年	2024年	2025年
東亜合成	SOx	40	46	42	36
	NOx	71	61	73	62
	ばいじん	5	4	7	7
アロン化成	SOx	0	0	0	0
	NOx	0	0	0	0
	ばいじん	0	0	0	0
国内グループ	SOx	40	46	42	36
	NOx	71	61	73	62
	ばいじん	5	4	7	7

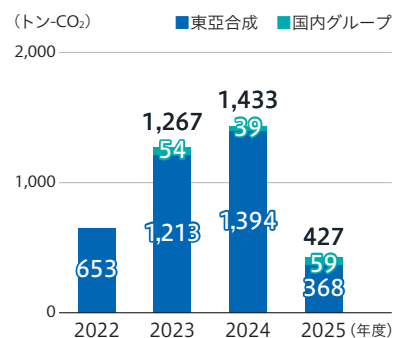
フロン類の排出抑制

当社グループではフロン排出抑制法に基づき対象機器、設備の適切な維持管理、フロン漏えいの対策に取り組んでいます。当社グループでは冷媒管理システム(RaMS)の導入を進めており、法対象機器の簡易点検、定期点検等の適正管理に努めています。当社単体の2025年度フロン類算定漏えい量は368トン-CO₂でした。また、当社グループのフロン類算定漏えい量は427トン-CO₂でした。今後も継続してフロン漏えいの対策に取り組んでいきます。

フロン類算定漏えい量
(トン-CO₂)

事業所※	排出量
名古屋工場	141
横浜工場	31
徳島工場	10
大分工場	174
川崎工場	5
本社	7
合計	368
アロン化成	59

フロン類算定漏えい量の推移



TOPICS

「海にやさしい環境に配慮した商品」の製造 「アロンアルファ 釣名人」ソフト・低白化

「アロンアルファ 釣名人」ソフト・低白化は、釣り糸の結び目補強やうき・ルアーの製作・補修やガイドの補修などにおすすめしている瞬間接着剤です。この接着剤の硬化物は、土壌中、海水及び堆積物中において生分解性がある（微生物により分解される）ことが確認されています。そのため、自然環境で万が一紛失した場合でも、環境への負荷を抑えることが期待されます。

